

## 区別発生状況(5月15日時点)

# 栄区 4人



飛散防止シートが張られた議会の演壇

## 横浜市内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況(5月18日時点)

陽性患者数506人、無症状11人、軽傷156人、中等症35人、重傷16人、調査中0人、死亡32人、退院等256人

## PCR検査数(5月10日時点)

衛生研究所 検査実施者数	2,271人
医療機関での検査実施者数(民間検査機関等)	1,804人
検査実施者総数	4,075人

## 新型コロナウイルス入院受け入れ態勢整う

横浜市では重症・中等症患者を対象に500床、軽症者・陽性無症状者の宿泊療養施設として計400人程度(旧市民病院跡地含む)を用意しました。各施設とも稼働率10%程度でまだ受け入れ可能な状態です。このままを維持して収束して欲しいです

(※速報値として公開されており、後日確定データとして修正される場合があります。)

## 【新型コロナウイルス感染症に対する横浜市の主な対応先】

(横浜市新型コロナウイルス対策本部に関すること)	総務局緊急対策課	Tel 045-671-2170	(感染症対策物資の寄附受入に関すること)	総務局地域防災課避難等支援担当課	Tel 045-671-4360
(市内の感染状況に関すること)	健康福祉局健康安全課		(特別定額給付金に関すること)	市民局総務課定額給付金担当課	Tel 045-671-2314
	新型インフルエンザ等対策担当課	Tel 045-671-2468	(経営等に関する相談受付状況と融資実績に関すること)	経済局金融課	Tel 045-671-2586
(感染症対策物資の調達に関すること)	経済局総務課	Tel 045-671-2572			

## 【ポスト・コロナ時代のえつこの政策】

### 『新型コロナウイルス感染拡大防止 新しい生活様式のもと安心できる暮らしの提供』

☆大変厳しい日本の財政状況下、税収の大幅減が見込まれます。不要不急の事業をやめ、危機対応予算へ大幅見直しを。

☆今はコロナ禍＝戦時。安全保障・国防の観点から国の感染症対策・体制を抜本的に見直しすべき。保健所以外の一次窓口の拡充で一局に集中させない業務体制を図り徹底したPCR検査の実施。

### 『教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)』

☆小・中学生にタブレット端末・生徒1人1台を導入する「GIGAスクール構想」。

広域的な情報提供で偏りのない教育の提供へ。

### 『リモートワーク推進税制』

☆コロナ禍で出社せずに自宅で仕事を行う「リモートワーク」。この流れを促進する為に、リモートワークへの投資を推進する税制を導入。都心への一局集中社会から空き家を活用した再生可能都市へ。

### 『補助金拠出に頼らない経済活性化策』

☆徹底した検査と隔離の体制づくり。社会活動・経済活動の維持。

☆ウイルス対策に万全な清潔なまちづくり。

レッツ!トライ!!



## line@を開設しました!!

横浜市の情報や長谷川えつこからのメッセージをいち早く発信いたします!!ご意見お待ちしております!!!  
ご自宅にポスターを掲示させてくださる方、ポスティング等お手伝いをしてくださるボランティアさんも募集中です!!

下記QRコードより、ご登録をお願いします!!!



長谷川えつこ政務活動事務所

☎ 247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目1-2 セントレージビル101

TEL : 045-390-0601 FAX : 045-392-5411 e-mail : e-hasegawa@e-linksvc.com

オフィシャルサイト : <http://e-linksvc.com/etsuko.hasegawa/>